

# 学区の地域基礎調査

## 北 野 学 区

### 1. 学区の特徴

J R野洲駅北口近傍の駅前北地区を中心とした商業・業務・住宅混在地域と大規模工業地域、久野部東・栄・富士美台・湖州平・富波・野洲平等の住宅地域、北部に広がる広大な農業地域が隣接し、地産地消の推進に適した地理的環境にあると考えられる。

#### ●全体的な特徴

- ◆地形・自然：山地、丘陵等はなく平野部が広がっている。
- ◆土地利用：商工業地域、住宅地域、農業地域が隣接
- ◆人 口：約9,100人 約3,500世帯
- ◆高齢化：農業地域、住宅地域とも高齢化が進んでいると思われるが統計的數字は把握していない。
- ◆交通：主要地方道「大津能登川長浜線」や「守山中主線」、「ショッピングセンター丸善前歩道」等、安全上の改善が必要な個所が残されており、北野学共通課題として継続して取り上げている。
- ◆歴史・人物：特にありません。

#### ●農業・林業・水産業関連の特徴

林業及び水産業関連の産業はなく、農業については兼業農家による水稻が主で、きゅうりや菊、カーネーションの栽培などが一部で見られる。

#### ●商業関係の特徴

地元の小売：なし

大型店舗：デースターモール、業務スーパーケント、丸善、  
ジャンボなかむら

チェーン店：なし

加工所：なし

●観光関係

神社・仏閣：円光寺



自然：西側の野洲川沿いや北側の田園地帯などの豊かな自然環境がある。

レジャー施設：野洲市総合体育館

●学区で特に自慢できること：自治連合会、青少年育成会、人権啓発推進協議会、体育振興会、等の自治活動が活発であること。

●学区のウイークポイント：新興住宅地域の地域社会への関心の希薄さ。

2. 地元商品取扱店の調査

◆地元商品を取り扱う店（朝市・無人市場・個人的に店舗を構えられているものを含む）：現時点で地元商品を主体に取扱っている商店や団体等はありません。

3. 地元商品を販売するイベント

◆地元商品を販売するイベント等

定常的なイベントはありません。

コミセンきたの夏祭り（平成21年8月2日）の中で「地産地消コーナー」を設けて「地産地消」を実施。

年1回のコミュニティセンターきたの夏祭り（7月下旬から8月上旬の間の1日）の会場の一角に「地産地消」コーナーを設け、地元有志の方から出品していただいた農作物を、仕入価格と同価格で不特定多数の来場者に提供する形のイベントを実施している。（夏祭りイベントの一環であり、収支が均衡する形の非営利事業である。）



コミセンきたの夏まつり「地産地消コーナー」  
（平成21年8月2日）

主催 コミセンきたの夏まつり実行委員会

参加者 北野学区在住の農業者&北野学区民

来客数 1000人程度

商品（全品100円均一）の品名&数量；

玉ねぎ：60、かぼちゃ：10、じゃがいも：17、あずき：3、

黒豆：2、金時豆：2、にんにく：10、花：10、

なす：10、きゅうり：10、さつまいも：10、

さつまいものつる：10、三度豆：4、白菜：6

#### 4. 地元に伝わる伝統料理やもの、伝統芸能など

伝統料理や伝統芸能で特筆すべきものは見当たらない。

伝統行事としては、市三宅地域に「子ども相撲」があるが、人々の考え方に変化が見られ、従来通りの存続があやぶまれる状況にある。



#### 5. 協議会への提案

臨時自治会長会（1月15日、2月6日）を開催して、地産地消を積極的に推進していく為に解決すべき課題についてディスカッションした結果、つぎの事項について検討する必要があるとの結論を得ました。

今後、これらの課題について具体策を検討し、現実的な仕組み作りをする必要があると思われまます。

- (1) 生産・加工サイドの労働力不足の解消
- (2) 生産地から販売拠点までの運搬の仕組みづくり
- (3) 販売（値決め・販売・回収・利益分配）の仕組みづくり
- (4) 販売拠点の広報宣伝（衆知徹底）方法の確立